

第1回

輝く女性研究者
活躍推進賞（機関）

輝く
女性
研究者賞
ジュンアシダ賞

九大方式の女性人材発掘・育成と 女性の活躍可視化

国立大学法人 九州大学
（総長 久保 千春）

九州大学教育憲章

九州大学学術憲章

九州大学は創設百年（2011年）に際して、
新たな百年に向けての基本理念を掲げ、目指す姿と行動計画を宣言

躍進百大

基本理念

自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保証するとともに
常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点となる



九州大学：アクションプラン（2015-2020） 2

自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保障するとともに、常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究・教育拠点となる

1 世界最高水準の研究とイノベーション創出

2 グローバル人材の育成

3 先端医療による地域と国際社会への貢献

4 学生・教職員が誇りに思う充実したキャンパス作り

5 組織改革

6 社会とともに発展する大学

1. 世界基準の広大で美しいキャンパス

- 豊かな感性を育む豊かな環境
- 将来への確実な投資
- 広く**アジア**に開かれた大学



2. 「人」を重視した経営改革

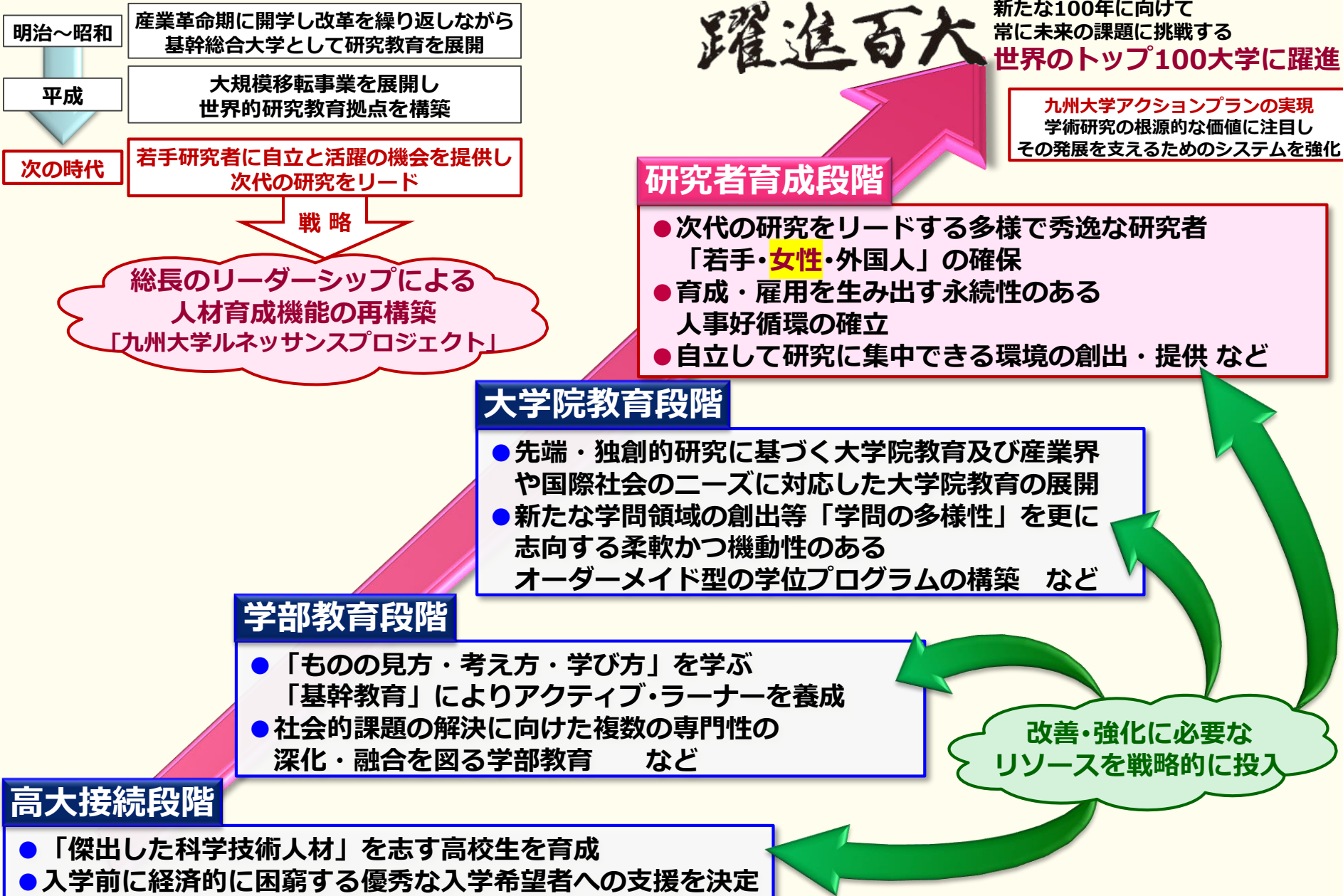


- 学生と教員がともに学ぶ
- **多様な人材**が個性を発揮する
自由な研究教育環境

サッカー部がサッカーをするがごとく
起業部は学生起業します。

大学紹介動画

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/publicity/movie/>





総長アクションプラン(2015-2020)

国立大学経営改革促進事業 九州大学ルネッサンスプロジェクト(2018-2021)

**世界最高水準の卓越した学術研究推進のための
多様な人材（若手・女性・外国人）の積極的登用**

**女性優遇ではなく
女性に活躍する機会を提供し
競争力ある人材に育成する**



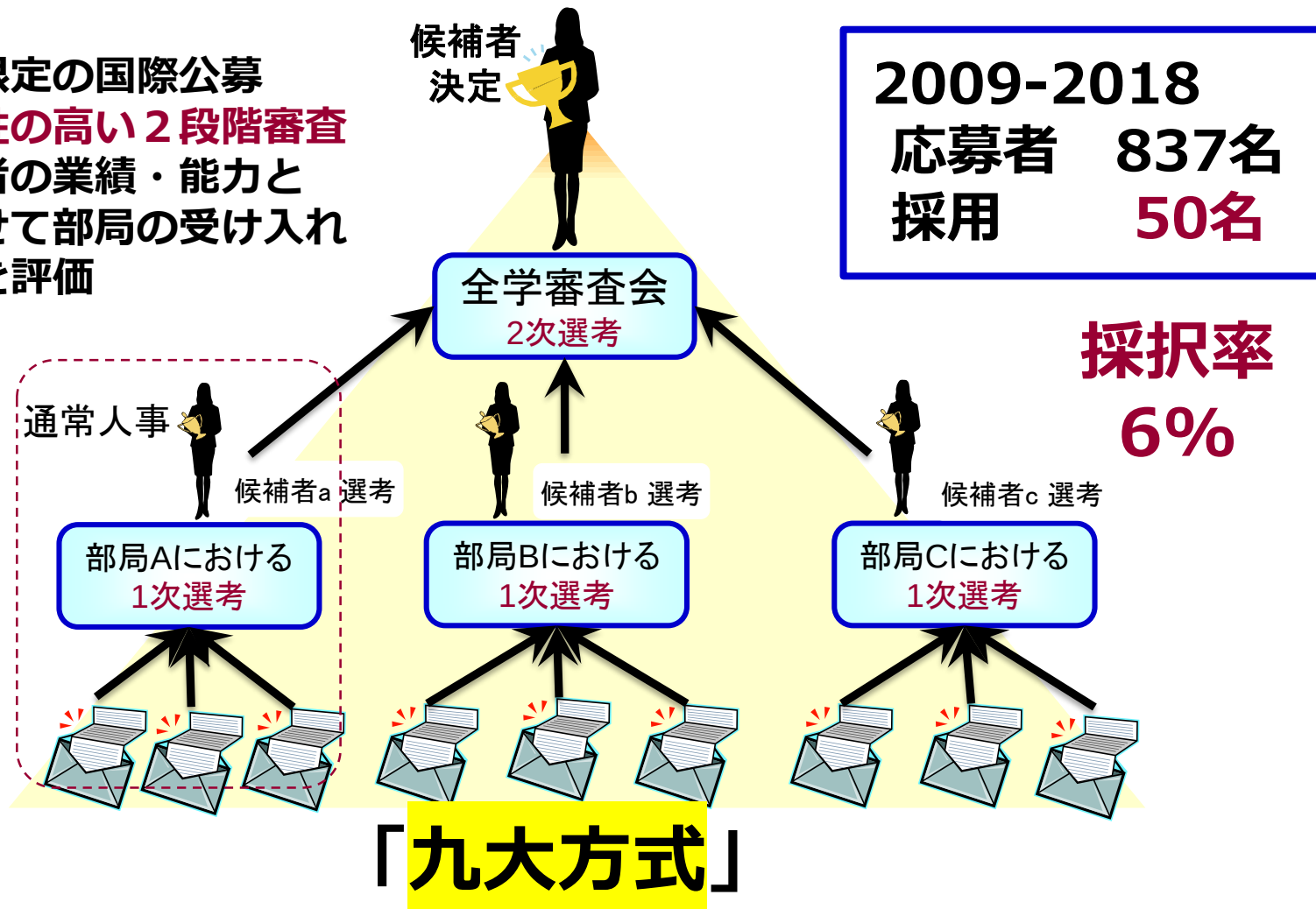
- 事例 1 女性枠設定による教員採用・養成システム
- 事例 2 男女別論文業績分析
- 事例 3 配偶者帯同雇用制度

今後の取り組み

- 事例4 ダイバーシティ・スーパー
グローバル 教員育成研修
(事業名 : **SENTAN-Q**)

女性枠設定による教員採用・養成システム

- 女性限定の国際公募
- 透明性の高い2段階審査
- 候補者の業績・能力と合わせて部局の受け入れ体制を評価



女性優遇ではなく、**均等な機会を与える**という考え方



科研費採択

2016年度科研費代表（新規＋継続）

1人当たり平均採択件数 （**九大平均 0.56件**）

Aグループ	0.85 件	（基盤A, B, C、若手A, B、挑戦的萌芽、新学術領域）
Bグループ	0.78 件	（基盤C、若手A, B、挑戦的萌芽）
第Ⅱ期	1.00 件	（基盤A, B、挑戦的萌芽）

その他競争的資金

工学系1部局 女性枠採用4人全員「さがけ」採択

受賞等

文部科学大臣表彰 若手科学者賞 4人

資生堂女性研究者サイエンスグラント 4人

**NHK解説番組出演, 学会理事, 文科省科学官,
日本学術会議連携委員, 学術調査官 etc.**

Gender equity is the standard (i.e. normative) in several notable exemplars

- ADVANCE program (U.S. NSF)
- Athena SWAN (EU)
- KASOKU program (Japan - Kyushu University)
- Restart Postdoctoral Fellowship (JSPS program)
- HeforShe campaign (global UN)
- Science with and for Society work programme (EU's EC)



世界の優れた 6 つの取り組みのひとつとしてNSFにより紹介

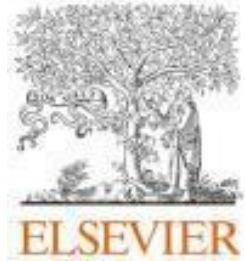
Kellina Craig-Henderson, PhD, NSF

http://danjo.rois.ac.jp/jo3j9gsew-332/#_332



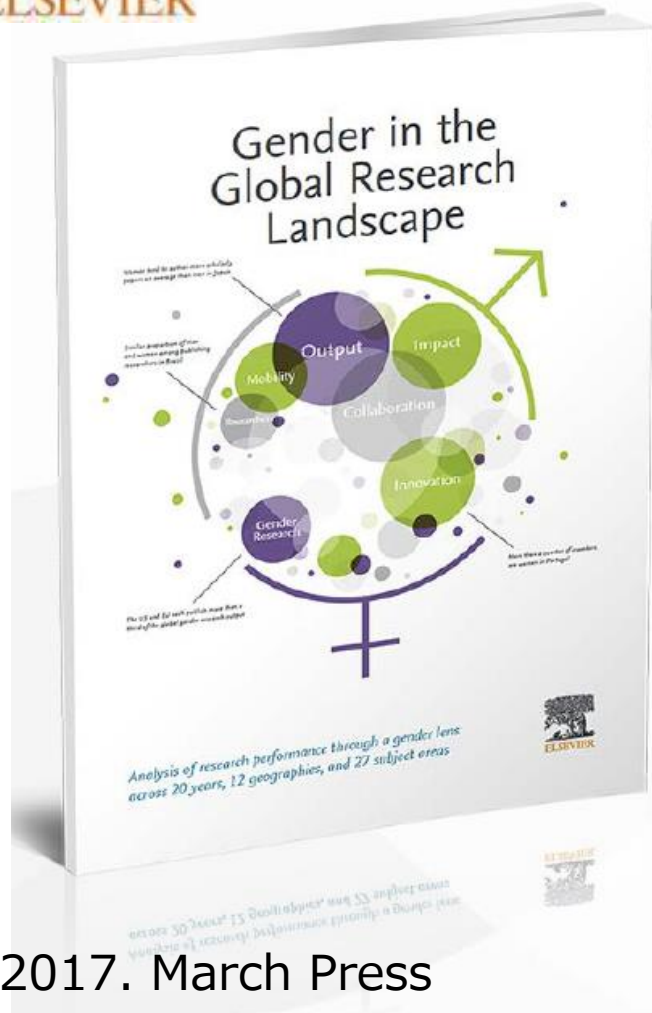
事例2 男女別論文業績分析

10



Scopus®

SciVal



2017. March Press

エルゼビア

科学と医療を専門とするグローバルな情報分析企業

Economic Dividends for Gender Equality (EDGE) 認証



ジェンダー平等への
取り組みに対し
2016年に認定を
受けました



Elsevier > About > Press releases > Corporate social resp... > Elsevier Attains EDGE...

Elsevier Attains EDGE Assess Certification for Gender Equality

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





研究者1人あたりの執筆論文数 (男女別)

女性が執筆する論文の数は平均して男性よりも少ない傾向にあるが、日本ではその傾向が逆転し、女性は平均的に男性よりも多くの論文を発表している

■ Women ■ Men

SCHOLARLY OUTPUT PER RESEARCHER
(AMONG NAMED GENDERED AUTHOR PROFILES)



エルゼビア社 SciVal 活用 2017年10月実施
(対象:論文、論評、会議録 出版年:2011年~2015年)

1人あたりの論文数

日本女性平均 1.8



日本男性平均 1.3

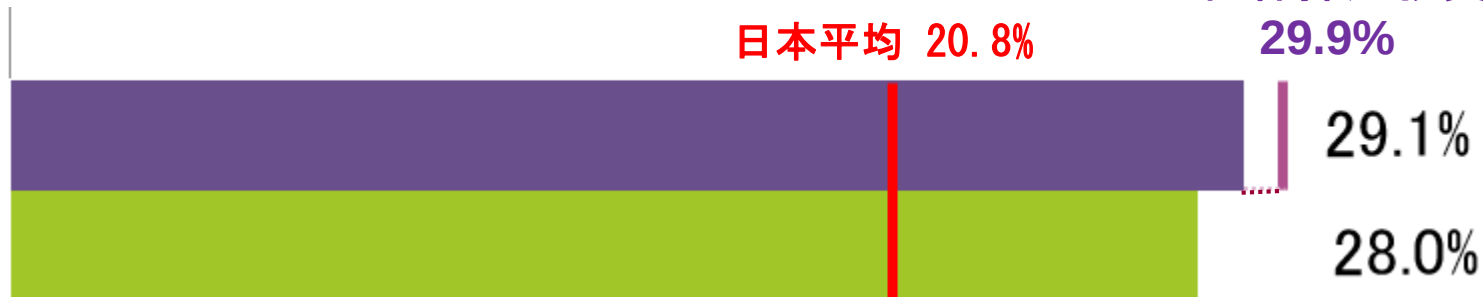
■ 女性研究者
■ 男性研究者

女性枠採用教員
13.24

Top10% ジャーナル論文の割合

CiteScoreが高い上位10%のジャーナルに掲載

女性枠採用教員



日本平均 20.8%

29.9%

【データ出典: SciVal (Elsevier)

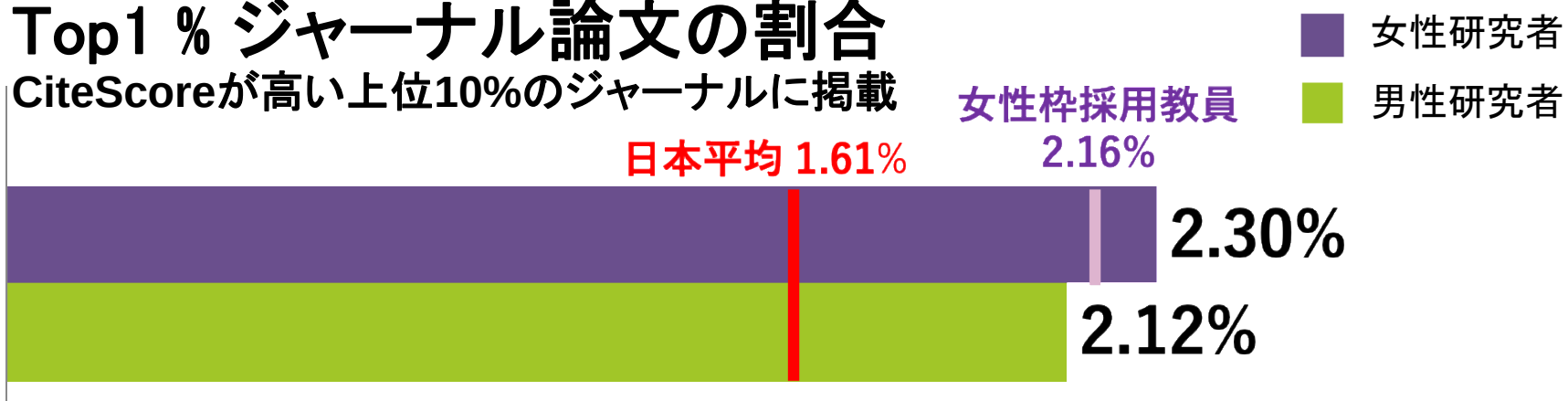
※日本平均値: Gender in the Global Research Landscape, Mar 2017, Elsevier)】

九州大学 男女共同参画推進室
<分析:九州大学 IR室>

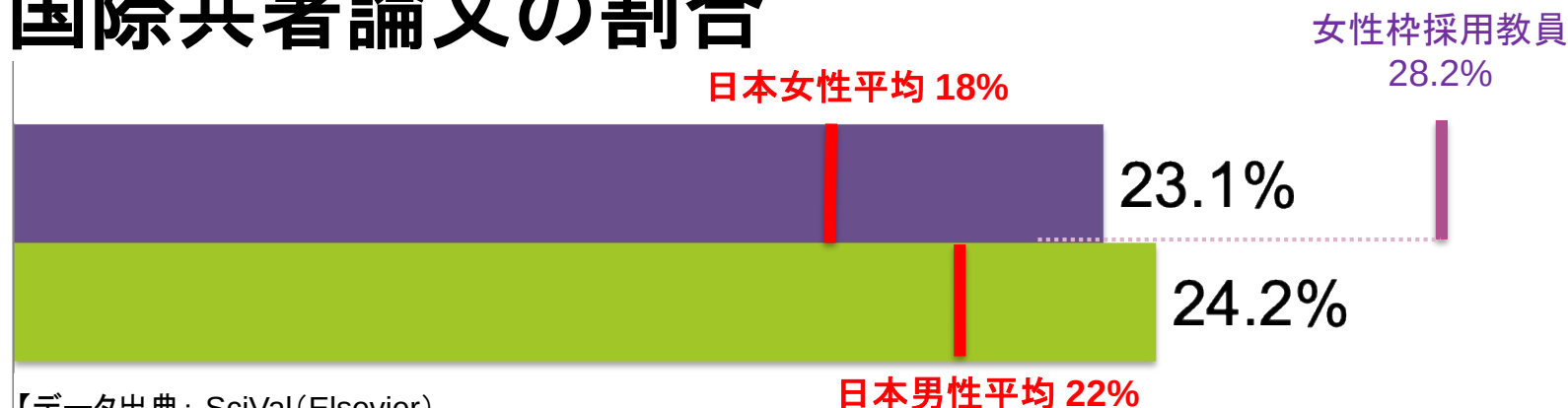
エルゼビア社 SciVal 活用 2017年10月実施
(対象:論文、論評、会議録 出版年:2011年~2015年)

Top1 % ジャーナル論文の割合

CiteScoreが高い上位10%のジャーナルに掲載



国際共著論文の割合

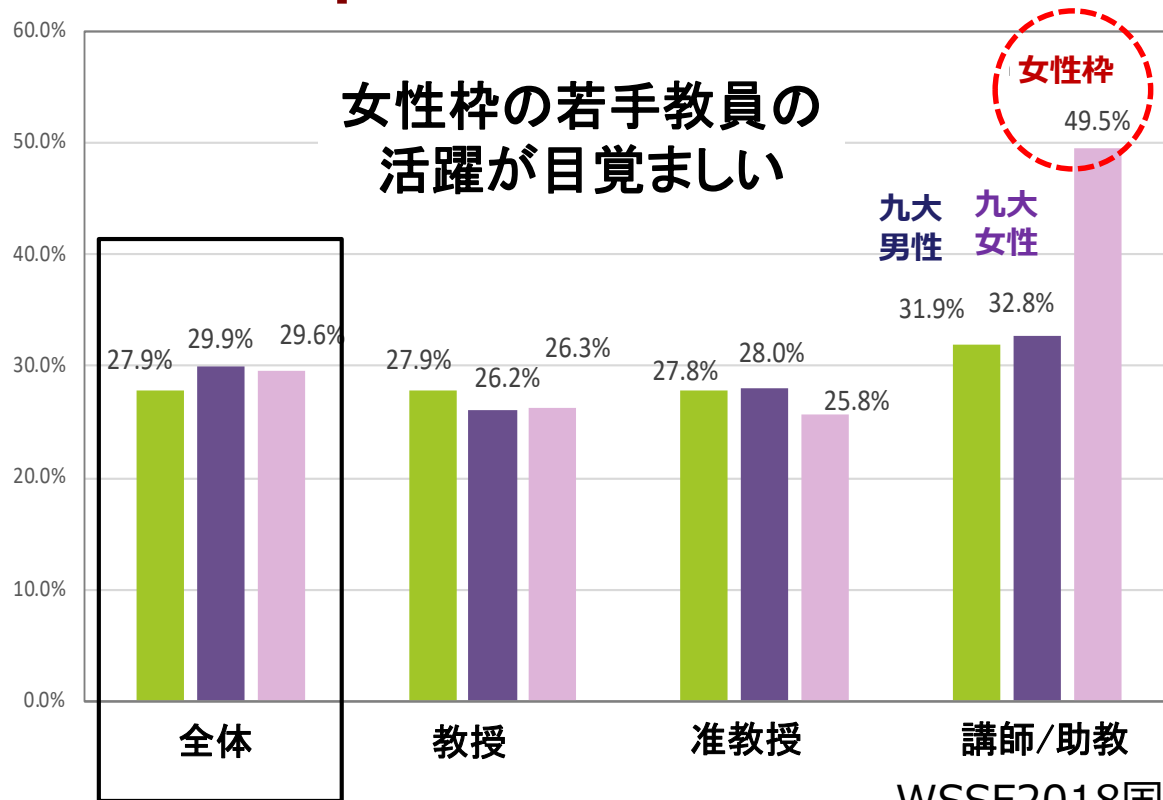


【データ出典: SciVal (Elsevier)

※日本平均値: Gender in the Global Research Landscape, Mar 2017, Elsevier)】

九州大学 男女共同参画推進室
＜分析:九州大学 IR室＞

Top10% 論文の割合



WSSF2018国際会議発表データ

男性平均を遥かに超える「女性枠」
特に若手女性教員のデータが国内外で注目される

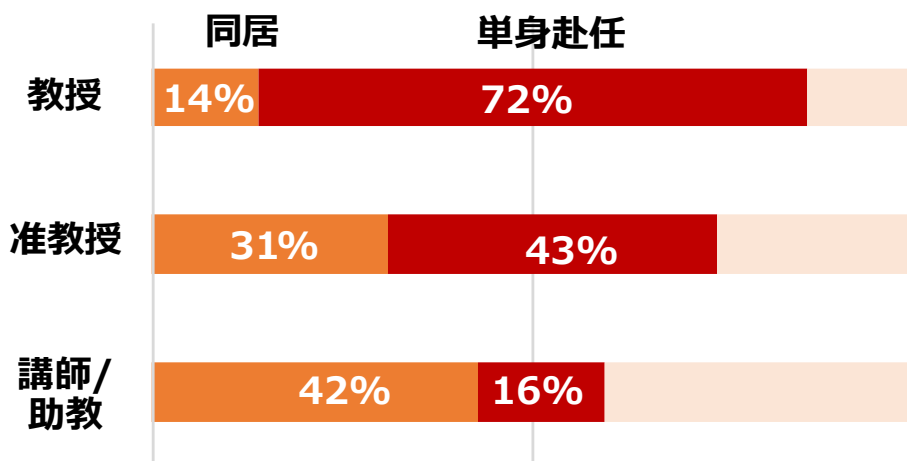
*朝日新聞電子版 (WEBRONZA) にて紹介 (2018)

*第5 回東北大学澤柳記念男女共同参画賞受賞(2018)

九州大学 男女共同参画推進室
 <分析:九州大学 IR室>

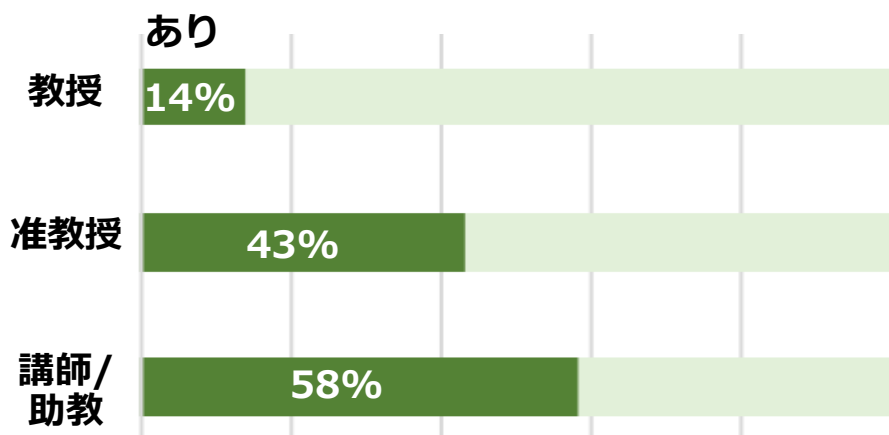


結婚



- 教授は既婚率が高い(86%)
が、単身赴任率も高く、子供
がいないケースが多い
- 准教授、講師、助教は単身赴
任率も比較的 low、子供がい
る比率は教授層をはるかに超
えている

子供



- 若手教員の職場環境・ライフ
ワークバランスは急激に改善
している

環境さえ整えば
結婚・出産は
研究の妨げにならない



WSSF2018, Sept. 25, 2018



KYUSHU UNIVERSITY

Gender Analysis : Evidence-Based Examination of Research Activity in Kyushu University

Saki Liu*, Eriko Jotaki,
Kaoru Tamada****

*** Office of Institutional Research,**

**** Office for the Promotion of Gender Equality,
Kyushu University**

80力国から1000人を超える参加者が集まる国際会議で英語で口頭発表



無意識のバイアス Unconscious Bias

- 女性の業績は男性よりも劣る
- 女性採用数を増やすと部局の業績が下がる
- 特にポジティブアクションで採用した女性枠
教員は期待できない

そうとは限らない=>データで示すことは重要

- 女性を採用したいが適当な候補者がいないというのは本当か？
- 無意識に合格ラインを高めに設定していないか？

男性の意識改革
女性採用に関する漠然とした不安を払拭

2015年5～12月
先行事例調査

2016年3月
シンポジウム開催
「配偶者帯同雇用の現状と可能性」



基調講演：Stanford大学
Prof. Londa Schiebinger



パネル討論

2016年4月
報告書を総長へ提出

2017年7月25日
配偶者帯同雇用制度を創設

総長によるプレス発表



(左) 久保千春 九大総長 (右) 井上人事担当理事

国内初の制度として
新聞、TVで報道

2018年11月 第1号 誕生

本年度より開始のJST先端型事業 ダイバーシティ・スーパーグローバル 教員育成研修（SENTAN-Q）

- 女性ならびに若手教員が、**世界トップレベルの海外講師**に直接指導を受け、自身の研究教育力を厳しく評価され、それをパスする経験をすることで、世界を舞台に他国の研究者と渡り合う自信を身につける
- 女性および若手教員の**国際研究教育力の向上と早期上位職登用**が目的
- **男女および文理融合クラス**で次世代リーダーシップ教育に**多様性**の要素を強く盛り込むとともに、上位職登用後の活躍に役立つ確かな知識を与える

ダイバーシティ・スーパーグローバル 教員育成事業 (SENTAN-Q)

■ 海外プログラム

8週間以上

STEP6 (最終試験) (必修)

海外での実践 (協定校等)

- 英語での専門科目の講義
- 英語での学生研究指導

■ 学内プログラム

STEP4 (必修)

- 独立PIとして**留学生への研究指導実践**
(世界トップ研究者によるメンター)

STEP2 (必修)

- **大学ガバナンス教育**
- 無意識のバイアス等
ダイバーシティ・インクルーシブ教育

STEP1

- 透明性の高い審査による研修生の選出
(女性および男性若手教員 (研修初年度における年度
末年齢が37歳以下))
- 男女同数・文理融合のクラス編成

実質的昇任審査

修了認定

ダイバーシティ・
スーパーグローバル教員

- ✓ テニユア獲得
- ✓ 1段階内部昇格



STEP5 (選択必修)

学内リカレント教育 (専門外分野)

- データサイエンス(AI・IoT)
- SDGs関連科目
- アジアの歴史と国際情勢 など

STEP3 (必修)

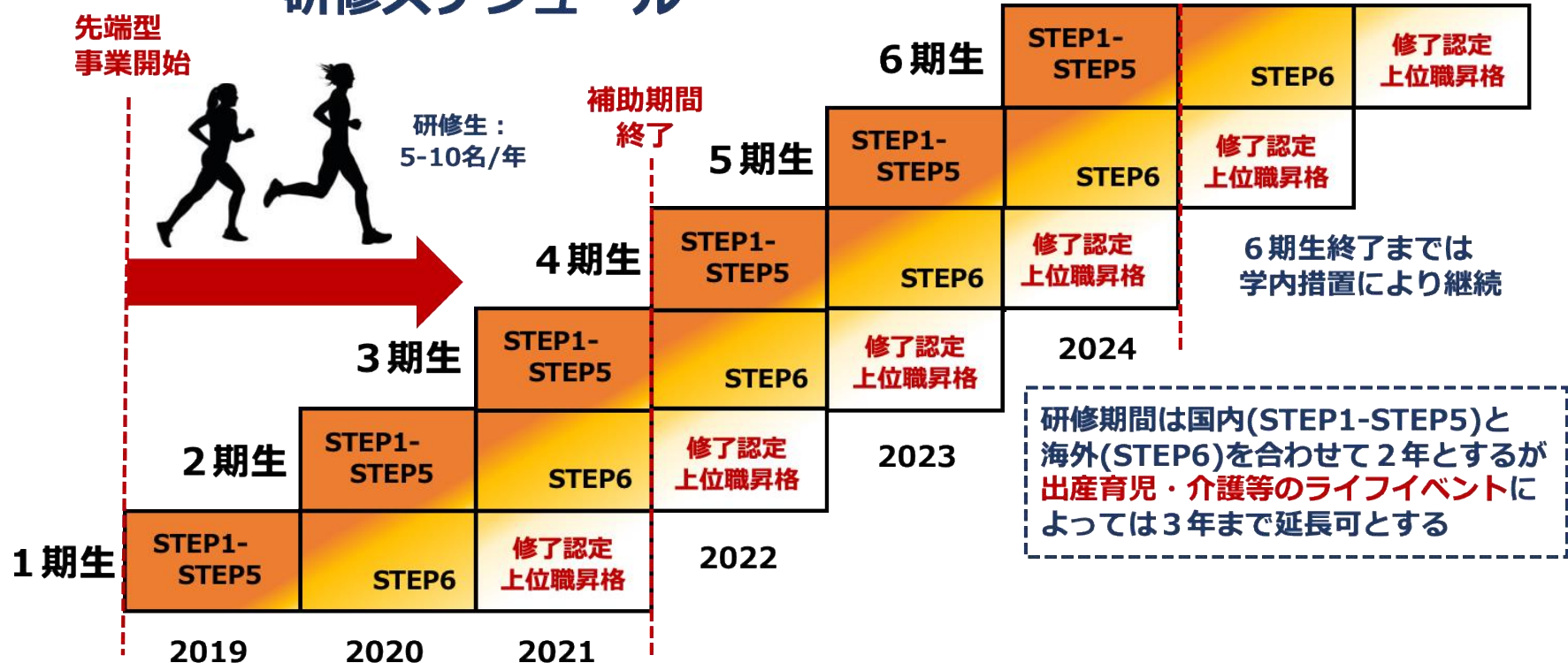
- 世界トップ講師招聘による世界最新の
アクティブラーニング授業法教育



開始から修了
認定まで:
2-3年/人を想定

ダイバーシティ・スーパーグローバル 教員育成事業（SENTAN-Q）

研修スケジュール



- 目標レベルに到達した教員には認定書を与え、原則 1 年以内にテニユアの付与あるいは 1 段階の内部昇任
- 6 年間（6 期生）で上位職登用50名が目標

- 日本におけるダイバーシティ研究環境実現はまだ**試行段階**
- だからこそ画一的なやり方ではなく、各大学が様々な方法を模索し、大胆な改革を試みることが重要
- **多様性の重要性**は個人だけではなく「組織」についても同じ

九州大学は九大方式で、女性が輝く
世界最高水準の研究教育拠点を目指す



參考資料



女性枠 採用実績 詳細

第I期：補助事業期間（2009-2013年度）

Aグループ°（補助事業対象 理工農分野）

理学, 数理学, 工学, システム情報, 総理工, 農学, 先導研, 応力研

応募者 495人 採用 31人（教授 4 准教授15 講師 1 助教11）

Bグループ°（自主経費）

人文科学, 経済学, 芸術工学, 薬学, 比較社会文化

応募者 206人 採用 9人（准教授6 講師 1 助教2）

第II期：補助事業終了後（2014-2018年度）

Aグループ°（自主経費）

理学, 数理学, 工学, システム情報, 農学, 先導研

応募者136人 採用10人（教授3 准教授4 講師 0 助教3）

合計 応募者 837名 採用 50名



活躍の可視化 イベント・広報

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」



第2回九州大学女性研究者 ダイバーシティシンポジウム

2019年 3月18日 (月) 13:00 ~

九州大学 伊都キャンパス ウェストゾーン

稲盛財団記念館

伊都キャンパス
マップ
48番

言語：原則として英語 一部日本語可

本シンポジウムでは九州大学の女性研究者の活躍を学内外にアピールし、部局や分野を超えたネットワーク形成を目指します。男性の皆様参加を歓迎します。

- 13:00 開会挨拶
- 13:05 口頭発表 (6人)
- 14:35 [休憩]
- 14:50 基調講演
Prof. CHUA LayLay
National University of Singapore
- 15:40 [集合写真撮影]
- 16:00 ポスターセッション
- 17:25 閉会挨拶
- 17:45 [交流会]

基調講演

Prof. CHUA LayLay
(National University of Singapore)

Associate Professor,
National University of Singapore,
Dept of Chem & Phys;
Adjunct Professor, Novel PV
concepts clusters, SERIS;
Associate editor for Journal of
Materials Chemistry C-Royal
Society of Chemistry;
Award: Inaugural Dual-University
Assistant Professorship between
NUS and Cambridge

九州大学男女共同参画推進室

TEL: 092-802-2034 E-mail: event@danjyo.kyushu-u.ac.jp

※ 参加ご希望の方はメールタイトルに「3/18 Symposium」を明記の上、お名前・ご所属・連絡先をお知らせください。



2nd Diversity Symposium For Women Scientists

インタビュー連載



INTERVIEW

連載企画「九州大学で活躍する女性研究者」

伊藤 早苗

専門分野：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

研究内容：ブラス管物理学

INTERVIEW

連載企画「九州大学で活躍する女性研究者」

玉田 薫

専門分野：産科婦人科、トキソゲ

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

INTERVIEW

連載企画「九州大学で活躍する女性研究者」

笹木 圭子

専門分野：産科婦人科、トキソゲ

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

INTERVIEW

連載企画「九州大学で活躍する女性研究者」

佐竹 暁子

専門分野：産科婦人科、トキソゲ

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科

研究内容：産科婦人科</